

どっしりとそびえるトカラ富士、夜空には天の川

しましま

島々

もよう

vol. 4

Nakanoshima

中之島

トカラの中心地的な島

中之島はトカラ列島の中で、面積が最大で人口も最多の島です。かつては村役場が置かれ、昭和31年に役場本庁が鹿児島市に移転したあと、も支所（平成19年3月に廃止）がありました。現在も、十島開発総合センターや歴史民俗資料館といった公共施設があるなど、十島村の中心的な役割を担っています。

深い森に囲まれた神秘的な雰囲気、御池、馬や牛が遊ぶ牧場など、雄大でのどかな情景も中之島の魅力です。



稜線の美しい御岳は「トカラ富士」とも呼ばれます。写真手前は「底なし沼」の異名を持つ御池です。

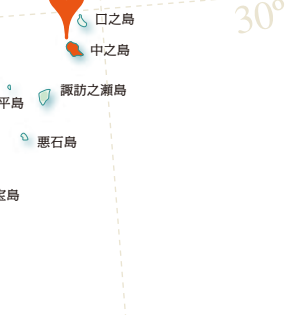


◀中之島天文台



満天の星空も島のこころ
空気が澄み、近隣に人工的な光源がないトカラ列島では美しい星空を見ることが出来ます。そんな天体

力です。このほか、トカラ列島最高峰の御岳（標高979メートル）、や海岸線の絶景が見渡せるヤルセ灯台や七ツ山海岸、港近くの東区温泉・西区温泉といった名所もあります。また、県内一早く出荷され、美味しいと評判の「大名たけのこ」や「トカラびわ」など、特産品も豊富です。
県では島の活性化に積極的に取り組み、特定離島ふるさとおこし推進事業を活用し、海水浴場や天文台等の観光・文化交流施設や、水産物鮮度保持・処理加工施設等の産業振興施設整備などが進められてきました。今年度は、これらのほか、平張ハウス・防風ネット整備（共同利用農業施設）や、竹林資源有効活用の実証研究（特産品研究開発）なども予定されています。



島々メモ

雄大な自然の中でのんびりと草を食むトカラウマ



トカラウマは西洋種の影響を受けていない小型馬で、県の天然記念物にも指定されています。かつては農耕馬として島民の暮らしを支えていました。島の中央部にある高尾盆地で放牧されていて、その愛らしい姿を見ることが出来ます。

観測に絶好の環境を生かし、中之島に村営の「中之島天文台」を設置（平成2年開設。九州最大級の口径60センチ反射望遠鏡のある本格的な天体観測施設です。望遠鏡の映像をモニターに映し出す設備もあり、多人数で一緒に天体ショーを楽しむことも出来ます。
なお、施設の利用には予約が必要で、詳細は十島村役場にお問い合わせください。

- 【位置】北緯29度51分30秒／東経129度55分01秒
- 【面積】34.48km² 【周囲】28.0km
- 【人口】154人／89世帯（平成26年6月30日現在）
- 【地形】北西部の御岳を頂点とし、海から突き出した急峻な火山島
- 【島名由来】「七島の中程になる故」（『三国名勝図会』より）。トカラ列島の中程にあることから。
- 【主な産業】農業（ビワ、椎茸、キクラゲなど）、畜産業（肉牛など）、漁業（トビウオ、サワラなど）
- 【アクセス】鹿児島港から村営の「フェリーとしま（1,391t）」が週2便運行。車両運搬可。所要時間は鹿児島港から約7時間・名瀬港から約8時間。

お問い合わせ先：十島村役場 ☎099(222)2101
(所在地は鹿児島市内)